

日付  
2026.04.16

カテゴリー  
大学

タイトル  
「スポーツ理学療法」を学ぶ！豊橋創造大学と横浜市スポーツ医科学センターが連携協力に関する協定書を締結しました。

本文

豊橋創造大学は、「スポーツのまち」づくりを推進する愛知県豊橋市にキャンパスを構え、東三河地域唯一の医療系大学として、保健医療学部に理学療法学科と看護学科の2学科ならびに大学院健康科学研究科を設置しています。「地域の健康を支える大学」をスローガンに掲げ、日々、教育研究活動に取り組んでいます。

また、本学が連携協力協定を締結させていただいた横浜市スポーツ医科学センターは、1998年に日産スタジアム（横浜国際総合競技場）内に設立され、「市民の健康づくりの推進」「競技力の向上」「スポーツの振興」の3つを柱として社会的な役割を担っており、全国から注目される活動をされています。

この両者は、双方が有する人的資源、専門的知見、教育研究基盤等を有効に活用し、スポーツ理学療法分野における教育・研究・社会貢献の発展を図ることを目的として連携協力に関する協定書を、去る2026年3月30日(火)、横浜市スポーツ医科学センターにおいて締結しました。



実施日：令和8年3月30日(火)10時00分

会場：横浜市スポーツ医科学センター

協定締結者：

■豊橋創造大学

学長 伊藤 晴康 (左側)

■横浜市スポーツ医科学センター

センター長 青木 治人 (右側)

#### 【具体的な連携協力事業計画案】

- (1) 豊橋創造大学への講師派遣およびカリキュラムへの助言・監修を通じて、スポーツ理学療法領域における教育内容の高度化を支援する。
- (2) スポーツ医科学センターにおける臨床見学・臨床実習・研修の受入れを実施し、臨床力・実践力を備えた理学療法士の育成を図る。
- (3) スポーツ理学療法分野における共同研究を推進し、学術的成果の創出を図る。
- (4) スポーツ医科学分野における社会貢献および地域医療への寄与を推進する。

### 【横浜市スポーツ医科学センターについて】

横浜市スポーツ医科学センター（神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内）は、1998年に横浜市民の健康づくりの推進、競技力の向上およびスポーツ活動の振興を目的として設立され、公益財団法人横浜市スポーツ協会が管理運営を行っています。

当センターのリハビリテーション科には、高度な専門性を有する理学療法士が多数在籍しており、スポーツ理学療法の知見に基づいた評価・治療を一体的に提供しています。特に、スポーツ外傷・障害に対する機能回復のみならず、再発予防やパフォーマンス向上までを見据えた包括的なスポーツ理学療法の実践に強みを有しています。

さらに、トップアスリート支援を通じて蓄積されたハイパフォーマンスの知見を、一般市民の健康づくり（ライフパフォーマンス）の向上へと還元している点も大きな特徴です。



### 【豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科について】

豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科は、愛知県豊橋市に位置し、「地域に根ざし、科学的根拠に基づいたリハビリテーションを提供できる理学療法士」の育成を掲げる教育機関として2006年4月に開設されました。地域の健康を支える大学として、人材育成と教育研究に取り組んでいます。



#### 【主な特徴】

#### 1. 実践力を重視した教育体制

最新の測定機器を備えた実習室など、充実した施設環境で「触れる」「動かす」といった技術を基礎から学びます。少人数制によるきめ細かな指導が特徴で、高い国家試験合格率を維持しています。

#### 2. 独自の「スポーツ理学療法」への注力

スポーツ分野に強い理学療法士の育成に力を入れています。プロスポーツチームや地域のアスリート支援に関わる教員が在籍し、最新の知見を学生に還元しています。



#### 3. 多彩な臨床実習と地域連携

愛知県内を中心に、病院、施設、横浜市スポーツ医科学センターなど、多岐にわたる実習先を確保しています。地域住民を対象とした公開講座や健康チェックも積極的に行い、学生が早期から社会貢献を経験する機会を設けています。

#### 4. 専門性の高い教員陣

基礎医学からスポーツ、老年期、中枢神経系まで、各領域の専門家が揃っています。教員自身も研究者として活動しており、最新のエビデンスに基づいた理学療法を学ぶことができます。

🌿 保健医療学部理学療法学科は、開設から20年が経過しました。

🌿 豊橋創造大学は、開設から30年が経過しました。

30th  
ANNIVERSARY  
TOYOHASHI SOZO UNIVERSITY